

筑摩書房  
版

# 国語教科書'24

令和六年度用  
内容解説資料



現国712 現代の国語



言文712 言語文化



論国710 論理国語



文国708 文学国語



古探715 古典探究(古文編)



古探716 古典探究(漢文編)

◆目次◆

- 筑摩書房の国語教科書 ———— ②
- デジタル教科書のご案内 ———— 22
- 教師用指導資料  
『学習指導の研究』のご案内 ———— 28
- 準拠課題ノートのご案内 ———— 56
- 指導資料・教材一覧 ———— 60

筑摩書房版全教科書の概要と指導資料全般・デジタル教科書については、こちらのパンフレットにまとめました。

# 筑摩書房の国語教科書

編集委員のことば



東京大学 安藤 宏

二〇一八年に改訂された新学習指導要領で、必修科目は「現代の国語」と「言語文化」に、選択科目は「論理国語」「文学国語」「国語表現」「古典探究」に分かれました。このうち「論理国語」は評論や実用文を扱い、「文学国語」は小説などの文学教材を扱うことになっています。各四単位なので両方を履修することには困難が予想され、「古典探究」も含め、教室で文学教材をどう扱うべきか、教育現場に不安と困惑が広がっています。

現在、情報化社会の中で「実用国語」化への動きが急速に進んでおり、今回の指導要領はあきらかにこうした流れに沿って作成されています。世にある文章を「論理」「実用」「文学」の三つに区分して科目に分けるという発想も、まさしくこれに深く関連する動きと言えるでしょう。

しかしわれわれ筑摩書房の編集委員会は、「役に立つ」という概念をもっと根本的な所から捉え直したいと考えています。世界の成り立ちを根源から問い返し、異質な世界や他者への想像力を育んでいく「人文知」は「国語」という教科の礎（いしずえ）をなすものです。こうした発想に立ち、「論理国語」と「文学国語」の二つの科目が相互に有機的なつながりをもって編集され、これまで培われてきた理念とあらたな時代への要請とが、高い次元でミックスされています。

情報化社会の中でこそ、功利的なものの方々に惑わされることなく、これを批判的に相対化していく力が求められるわけで、われわれは教材の選定や編集に当たって、まず何よりもこうした奥深い知性を養成していくことを目標に掲げました。ぜひわれわれの編集方針にご賛同を頂ければ幸いです。

## 新学習指導要領と筑摩書房の教科書

①すべての教科において「主体的・対話的で深い学び」が求められています。

【筑摩書房の教科書では】

- ・生徒が主体的に取り組めるよう、知的好奇心を刺激する教材を厳選しました。
- ・「学習の手引き」には、生徒の主体性を引き出したり、対話によって考えを深めたりすることができる課題を配しました。
- ・単元ごとに「実践」を設け、生徒の主体的・対話的で深い学びを導く工夫を例示しています。
- ・さまざまな角度からの比べ読み教材を掲載して、深い学びへと誘います。

②「思考力、判断力、表現力等」と「知識・技能」から成る「資質・能力」の育成が求められています。

【筑摩書房の教科書では】

- ・『現代の国語』『言語文化』『論理国語』『文学国語』『古典探究』ともに、収録された教材と、学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力」および「知識・技能」の項目との関係が一目でわかる一覧表を掲載しました。
- ・それぞれの単元で、どのような「資質・能力」を身につけたいかを示す「単元の目標」を掲示しました。
- ・各教材の冒頭に「視点」を設け、教材のどのような点に着目して学びたいかを示しました。

『言語文化』この教科書で育成する資質・能力

言語文化		現代の国語		1年次
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める科目」</li> <li>・「書くこと」「読むこと」の2領域</li> <li>・「読むこと」の教材は「古文」「漢文」および小説・詩歌などの「近代以降の我が国の伝統と文化に関する文章」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力」を育成する科目</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域</li> <li>・「読むこと」の教材は現代の社会生活に必要な論理的な文章および実用的な文章」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として「思考力・判断力・表現力等」の感性・情緒の側面を育成する。深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする資質・能力の育成を重視した選択科目</li> <li>・「書くこと」「読むこと」の2領域</li> <li>・「読むこと」の教材は「近代以降の文学的な文章」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として「論理的な文章及び現代の社会生活に必要な実用的な文章」。</li> <li>・「書くこと」「読むこと」の2領域</li> <li>・「読むこと」の教材は「近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要な実用的な文章」。</li> </ul>	2・3年次
古典探究		文学国語		論理国語
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として「伝統的な言語文化に関する理解をより深めるためジャンルとしての古典を学習対象とする。古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解し、自分と自分をとり巻く社会としての古典の意義や価値について探究する資質・能力の育成を重視した選択科目」。</li> <li>・「読むこと」の1領域</li> <li>・教材は主として古典としての古文及び漢文。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として「思考力・判断力・表現力等」の感性・情緒の側面を育成する。深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする資質・能力の育成を重視した選択科目</li> <li>・「書くこと」「読むこと」の2領域</li> <li>・「読むこと」の教材は「近代以降の文学的な文章」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として「論理的な文章及び現代の社会生活に必要な実用的な文章」。</li> <li>・「書くこと」「読むこと」の2領域</li> <li>・「読むこと」の教材は「近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要な実用的な文章」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として「思考力・判断力・表現力等」の創造的・論理的思考の側面を育成する。実社会において必要となる論理的に書いたり批判的に読んだりする資質・能力の育成を重視した選択科目</li> <li>・「書くこと」「読むこと」の2領域</li> <li>・「読むこと」の教材は「近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要な実用的な文章」。</li> </ul>	

※このほか「国語表現」（他者とのコミュニケーションの側面を育成する科目として、実社会において必要となる、他者との多様な関わりの中で伝え合う資質・能力の育成を重視して新設した選択科目）があります。

# 現代の国語

大学入試を見据え、基礎から  
発展まで着実に身につく  
論理的思考力・表現力・判断力。



日本大学 紅野謙介

## 編集委員のことば

いま、私たちが使っている言葉には、目に見えない一定のルールや約束事がある。水や空気のように自然にそこにあるかのように感じている人が多いかもしれないが、実は「現代の国語」というのも偏りや特性があるし、地域や年齢、性別、階層、集団、職種などによってもさまざまな違いがある。署名のある言葉と署名のない言葉でも大きな違いがある。そのすべてを把握しきれている人はいない。共通言語があるように思っているだけで、同じ言葉ひとつとっても、自分と相手と同じ意味で使っているとはかぎらない。思春期が家族と自分は同じ言葉を共有していないと自覚することから始まるように、同じ言葉が実は同じではないと気づくことから、言葉の学びは始まる。

自分の言葉が誰にも通じていないとすれば、それは孤独への目覚めでもある。しかし、言葉の自由な使い手になるには、他者の言葉に耳をすませ、その意味するところを探りながら自分の言葉をくりだしていくしかない。相手はどのような論理を使っているのか、どうすれば相手を説得できるのか。占いの言葉を信じてしまうとき、そこではどのような力が働いているのか。こわばりから解放してくれる言葉をどのように見つければいいのか。言葉を学ぶことは、もう一度、人と人をつなげる世界への入り口なのである。

## 現代の国語 (現国 712) 編集のポイント

- 幅広い資質・能力を養い、高校生の知的好奇心を刺激する厳選された文章
- 大学入試を意識したトピックと筆者によるバラエティ豊かな評論教材

### 《教材の特徴》

- ① **10単元25教材** (\*筑摩書房版『精選国語総合 改訂版』収録評論より6本増・『国語総合 改訂版』より12本増)と充実のラインナップ。
- ② 教材1本につき**大学入試を意識した字数**に(2000字〜4000字程度)。
- ③ 原則として各単元内の**教材配列は易↓難↑**。
- ④ **最近注目の著者や話題**から、評論読解の基本として**知っておきたい著者やテーマ**まで、バラエティ豊かな教材をセレクト。
- ⑤ 教室や生徒によってさまざまな資質・能力を引き出せる**奥の深い教材**を厳選。

### 《授業を支える工夫》

- ① 学びの見通しを立てるために役立つ「**単元の目標**」と教材ごとの「**視点**」を提示。
- ② 教材ごとに学びを深める「**課題**」と「**言語活動**」を提示。
- ③ 比べ読みの練習に、「**参考**」の文章を適宜掲載。
- ④ 評論読解に必要な知識をコンパクトにまとめた**コラム**を随時掲載。
- ⑤ 実用的な知識や資質・能力を身につける「**実践**」をすべての単元の末尾に掲載。

## 現代の国語 編集委員

- 安藤 宏 東京大学
- 井島正博 東京大学
- 大橋賢一 北海道教育大学旭川校
- 紅野謙介 日本大学
- 五味洵典嗣 早稲田大学
- 坂口浩一 東京都立小山台高等学校
- 清水良典 愛知淑徳大学
- 関口隆一 筑波大学附属駒場中・高等学校
- 高田祐彦 青山学院大学
- 橘 直弥 灘中学校・高等学校
- 千野浩一 筑波大学附属駒場中・高等学校
- 仲島ひとみ 国際基督教大学高等学校
- 三上英司 山形大学
- 吉田 光 東京都立竹早高等学校
- 吉田幹生 成蹊大学

# 言語文化

基礎を固める定番教材を中心に  
言語文化の本質に迫る  
バラエティ豊かなラインナップ。



青山学院大学 高田祐彦

## 編集委員のことば

教材本位——それが新学習指導要領のもとでも変わることのない私たちの方針である。一つ一つの教材を深く読み込むところが、国語の力を育てる核となると信じているからである。古文は、さまざまなジャンルの教材によって古典の世界の豊かさを味わうとともに、文学史的的確な把握ができるように努めた。漢文は、親しみやすい教材を多くとりあげ、日本の言語文化にとって重要な漢文の世界を身近に感じられるようにした。いずれも、「国語総合」で支持を受けてきた定番教材と単元構成を十分に生かしながら編成して、生徒が古典の言葉とじっくり向きあうところから新たな世界が開けるような教科書づくりを目指した。また、古文と漢文、古典と現代文との間にも連絡を図り、「言語文化」という科目全体への目配りも怠っていない。新学習指導要領への対応にも種々工夫を凝らしたが、教材そのものを大切に基本を堅持しつつ、安心して使ってもらえる教科書になっているはずである。



日本大学 紅野謙介

いまから一五〇年ほど前、日本は近代国家に生まれ変わったが、言葉は今よりもっとばらばらで、互いに通じ合うことがなかった。話し言葉には方言もたくさんあったし、もっと複雑だった。書き言葉では、漢文を公式の文章語にしている人もいれば、候文を日常的に使っている人もいた。そもそもまだ文字を知らない人もいた。それが夏目漱石や樋口一葉の時代であった。今の言葉に近づいてくるのは一九二〇年頃のこと。さらに多くの人々が使いこなせるようになったのは、戦後のことなのである。言葉にはこうした錯綜の歴史がある。その歴史と文化を学ぶことを通して、私たちは言葉が変化するものだということを知る。そう、言葉はつねに変化する必要がある。目に見えない未来の言葉は、過去と現在を接続することから生まれるのである。

## 言語文化 (言文712) 編集のポイント

- 古典 (古文・漢文) は、定番教材を中心に据えて基本を重視しました。
- 現代文は、言語文化の本質に迫る教材を厳選しました。

### 《教材の特徴》

- ① 古文教材は、散文25本、韻文6本。漢文教材は、散文14本、韻文10本。現代文教材は、散文7本 (小説3本・随想4本)、韻文6本。
- ② 入門教材は丁寧な解説。(古文入門・漢文入門)
- ③ 古典から現代への流れを自然に理解できるように、古典編から現代文編への橋渡しとなる「日本語の変遷」という章を置きました。

### 《授業を支える工夫》

- ① 古文編・漢文編・現代文編と、授業を展開しやすい三編で構成しました。
- ② 学びの見通しを立てるために役立つ「単元の目標」と教材ごとの「視点」を提示。
- ③ 言語文化をよりよく理解するためのアクティブ・ラーニング例として、「実践」をすべての単元の末尾に掲載。
- ④ 古文・漢文の理解に役立つコラム(古典文法の窓・訓読のきまり・送り仮名のきまりなど)や、付録(古語の理解・漢文句法一覽)が充実。
- ⑤ 付録に「装束」「調度」「中国の文化」「暦法」など、授業で使えるカラー図版を掲載。

## 言語文化 編集委員

- 安藤 宏 東京大学
- 井島正博 東京大学
- 大橋賢一 北海道教育大学旭川校
- 紅野謙介 日本大学
- 五味洵典嗣 早稲田大学
- 坂口浩一 東京都立小山台高等学校
- 清水良典 愛知淑徳大学
- 関口隆一 筑波大学附属駒場中・高等学校
- 高田祐彦 青山学院大学
- 橘 直弥 灘中学校・高等学校
- 千野浩一 筑波大学附属駒場中・高等学校
- 仲島ひとみ 国際基督教大学高等学校
- 三上英司 山形大学
- 吉田 光 東京都立竹早高等学校
- 吉田幹生 成蹊大学

# 論理国語

重厚な定番から、最新のテーマや注目の著者まで、精選した評論をそろえ、難関大学の入試にも対応する「論理国語」の最高峰。



日本大学 紅野謙介

## 編集委員のことば

私たちは、子どものころから、感想を述べよとか、意見を出しなさいとか、くりかえし指示されてきました。しかし、ほつりほつりとようやく言葉を絞り出すと、もっと分かりやすくとか、明確にとか注文をつけられたりします。大人になると、もっとそういう場面が増えてきます。ある商品について、それがいかに素晴らしく、美容と健康によく、地球に配慮して作られているかとか、このプロジェクトを実現するといかに人類に貢献し、持続可能な社会を生み出せるかを説明してたくさん予算を獲得するとか、そういう説得の戦術に大人は頭を悩ませていきます。

そのとき効果を発揮するのが、論理とレトリックです。とりわけ論理的に言葉を練り出すことを目指したい。でも、ほんとうに完べきな論理というのはいくらでもありません。議論で相手を徹底して打ち負かすと、負けた側には不快な感情のしこりが残ります。

では、どうしたら社会で役に立つ「論理国語」ができていけるのでしょうか。それにはまず相手に納得してもらおう言葉の使い方を学ぶことです。そのためには相手がどのような人なのか、どのような思いを抱いているかを想像することが必要です。他人ですから、真に分かることはむずかしい。言葉を練り出し、相手の言葉や反応を引き出すことによって、少しずつ違いが分かるようになればうれしい。「論理国語」はこうして最終的には対話の言葉に向かいます。書き手と読み手が、話し手と聞き手がその役割を交互に切り替えながら、さまざまな観点から人間を、社会や自然をどうとらえ、どのように生きていくかを対話していくのです。

## 論理国語 (論国 710) 編集のポイント

●論理的な思考を学ぶとともに、ことばと人間の本質を深く探究する文章を豊富に採録。

●大学入試にも対応する鋭い視点や抽象度の高い思考を身につける、質・量ともに最高峰の評論をそろえました。

### 《教材の特徴》

- ①第一部9単元26教材、第二部8単元23教材と充実のラインナップ。
- ②原則として各単元内の教材配列は易→難へ。
- ③長く読み継がれる名評論から、最新のテーマ、さらに翻訳評論や近代の評論など、筆者、時代、テーマすべてにわたってバラエティ豊かな教材。
- ④教室や生徒によってさまざまな資質・能力を引き出せる奥の深い教材を厳選。

### 《授業を支える工夫》

- ①「第一部」「第二部」の冒頭に学びの見通しを立てるために役立つ「単元の目標」と教材ごとの「視点」を提示。
- ②教材ごとに学びの目標を明確化する「課題」と、理解を深める「構成」「読解」、主体的な学びを支える「言語活動」を提示。
- ③教材ごとに評論に用いられることばを身につける「キーワード」を掲載。
- ④主体的な学びを支える「実践」を適宜掲載。
- ⑤「論理的思考」を身につけるにあたって必要な知識を示したコラムを適宜掲載。
- ⑥「言語活動」で小説などとの関連付けを適宜提示。

## 論理国語 編集委員

- |       |                |
|-------|----------------|
| 安藤 宏  | 東京大学           |
| 門屋 敦  | 東大寺学園中・高等学校    |
| 紅野謙介  | 日本大学           |
| 河野龍也  | 東京大学           |
| 五味洵典嗣 | 早稲田大学          |
| 清水良典  | 愛知淑徳大学         |
| 関口隆一  | 筑波大学附属駒場中・高等学校 |
| 橘 直弥  | 灘中学校・高等学校      |
| 仲島ひとみ | 国際基督教大学高等学校    |
| 服部徹也  | 東洋大学           |
| 松田顕子  | 立教新座中学校・高等学校   |
| 吉田 光  | 東京都立竹早高等学校     |

# 文学国語

良質な小説・詩歌から、文学を深く掘り下げる評論・随想まで、ことばの本質を問い、人文知の扉を開く、筑摩書房全力投球の国語教科書。



東京大学 安藤 宏

## 編集委員のことば

「文学」を国語教育の中でどのように位置づけるべきか、従来もさまざまな議論が積み重ねられてきました。これを情操教育の一環として、言語運用能力の育成と区別する立場もありますが、筑摩書房の教科書は一貫してその逆、つまりコミュニケーション能力の育成と文学教育とを不可分のものと考え、立場を取っています。

もともと「文学」ということは、歴史的には文字で書かれた学問の全てを指す総称であり、この語が狭い意味での言語芸術の名称として用いられるようになったのは明治も後半になってからのことでした。近年、人文科学の世界ではこうした反省からあらためてこれを広く文化全体の中で捉え直そうとする動きが一般化しており、こうした流れを踏まえた上で、本教科書もまた、旧来の狭い「文学」概念からの脱却を目指しています。

ことばは、人間の想像力が発動するすべての出発点です。宗教、イデオロギー、貧富の差などによって世界の分断が進む中で、さらにはネット社会固有の孤独な状況がすすむ中で、異質な他者や世界の成り立ちについて考えていく「人文知」は今日ますますその重要性を増しており、「文学」はまさにその中核をなすものです。文学教材は決して「博物館の陳列ケース」の中の過去の文化財としてあるわけではありません。これからの現代社会を生き抜いていく上で、なくてはならぬ知恵の泉なのです。

今回のわれわれの提案を、あるべきあらたな「国語」の姿として、積極的なご支持を頂ければこれに過ぎる幸いはありません。

## 文学国語（文国708） 編集のポイント

- 多様なレトリックと豊かな想像力、人間とことばの本質を掘り下げる「文学的な文章」を、文芸作品に限定せずバラエティ豊かに採録しました。
- 大学入試はもちろん、未来を切り開く、多様なものの見方・考え方を示す文章を意識的に選択しました。

### 《教材の特徴》

- ① 第一部10単元27教材（うち韻文5本）、第二部8単元21教材（うち韻文4本）と充実のラインナップ。
- ② 原則として各単元内の教材配列は易↓難へ。
- ③ 定番の小説・詩歌教材はもちろん、「文学とは何か」について深く思考を巡らせ、議論を深めることのできる随想・評論教材まで幅広くセレクト。
- ④ 生徒によってさまざまな資質・能力を引き出せる奥の深い教材を厳選。

### 《授業を支える工夫》

- ① 「第一部」「第二部」の冒頭に学びの見通しを立てるために役立つ「単元の目標」と教材ごとの「視点」を提示。
- ② 教材ごとに学びを深める「理解」と「表現」を提示。
- ③ 教材ごとに理解の幅を広げる知識やヒントをコンパクトにまとめたコラム「読解の窓」を掲載。
- ④ 比べ読みの練習に、「参考」の文章を適宜掲載。
- ⑤ 主体的な学びを支える「実践」を適宜掲載。

## 文学国語 編集委員

- 安藤 宏 東京大学
- 門屋 敦 東大寺学園中・高等学校
- 紅野謙介 日本大学
- 河野龍也 東京大学
- 五味測典嗣 早稲田大学
- 清水良典 愛知淑徳大学
- 関口隆一 筑波大学附属駒場中・高等学校
- 橘 直弥 灘中学校・高等学校
- 仲島ひとみ 国際基督教大学高等学校
- 服部徹也 東洋大学
- 松田顕子 立教新座中学校・高等学校
- 吉田 光 東京都立竹早高等学校

# 古典探究

古典が培う普遍的なことばの力強さと  
繊細さに目を開かせる、「探究」の名に  
ふさわしい伝統と革新の古典教材。



青山学院大学  
高田祐彦(古文編)

## 編集委員のことば

古典が私たちにとって意義を持つのは、現在とは異なるその独自性と、現在にも深くつながってくる普遍性のゆえである。古典学習においては、何よりもこの両面を意識することが重要になる。そのためには、古典のことばそのものの力を感じつつ、作品世界の投げかけるものに深く思考をめぐらすことができるような良質の教材が不可欠となる。『古典探究』は教科名こそ新しいが、基本的な枠組みとしてはこれまでの筑摩書房版『古典B』と大きく変わるところはなく、名称どおり一段と深く古典の世界を「探究」するものと捉え、従来支持を受けてきた定番教材や構成を十分に生かしながら、さらなる掘り下げをおこなった。その一方、意欲的に新しい教材も加えることにより、古典「探究」にふさわしい幅広さも獲得できるよう、種々工夫してみた。これまで、筑摩書房編集委員会では、単なる古文の学習にとどまらず、日本古典の世界を深く広く把握できるように教科書作りをおこなってきたが、そうした革新の伝統を受け継ぎながら、生徒たちが豊かな古典の世界に分け入る良質の手引きを作ることができたと確信している。



山形大学  
三上英司(漢文編)

揺るがないことばに触れる機会を作りたい、『古典探究』「漢文編」の作成に携わった者一同の思いは、ここにあります。目前の要求に右往左往する度合いが増加する現代社会で、自らの精神的安定を確保して豊かな人生を送るためには、確固たる自我を構築しなければなりません。二千年を超えてきた時代の変化にも流されず、現代に普遍的な真理を伝えることばたちは、自己を形成する途上にある高校生にとって、自らを映し出す明鏡となり、自らの航路を確認する灯台ともなります。古典文学の役割が現代以上に重要性を持った時代は、おそらくこれまでなかったでしょう。

本教科書では、高校生の方々の学びが自覚的に進むように「単元の目標」の項で、具体的にコンピテンシーベースの学習目標を明示しました。そして、目標達成のために各単元に配置した教材群は、奇を衒うことなく、高い評価の定まった「古典中の古典」を選びました。学習者の皆さんが、変転激しい社会でこそ価値を増す揺るがぬことばの力に触れ、自らの感性を広げ、思考力を高め、効果的な表現力を磨く機会として、本『古典探究』『漢文編』を活用してくださることを切望しております。

## 古典探究 (古探 715 / 716) 編集のポイント

- 古典を学ぶにあたって必須の教材を柱とし、さらに探究を深める工夫を凝らしました。
- 生徒の興味関心を広げ、先生方の教材選択の幅を広げるために、豊富な教材数を収録しました。

### 《教材の特徴》

- ① 使いやすい古文編・漢文編の分冊構成。
- ② 古文編は第一部〈9単元・散文49教材・和歌39首・俳諧12句〉、第二部〈10単元・散文41教材〉、漢文編は第一部〈7単元・散文20教材・漢詩12首〉、第二部〈7単元・散文24教材・漢詩8首〉と充実のラインナップ。

### 《授業を支える工夫》

- ① 「第一部」「第二部」の冒頭に学びの見通しを立てるために役立つ「単元の目標」と教材ごとの「視点」を提示。
- ② 教材ごとに学びを深める「理解」と「表現」を提示。
- ③ 比べ読みの練習に、「参考」の文章を適宜掲載。
- ④ 主体的な学びを支える「実践」を適宜掲載。

## 古典探究 編集委員

- 東 俊也 武蔵高等学校中学校
- 井島正博 東京大学
- 大橋賢一 北海道教育大学旭川校
- 小田健太 早稲田大学高等学院
- 木下華子 東京大学
- 高田祐彦 青山学院大学
- 千野浩一 筑波大学附属駒場中・高等学校
- 三上英司 山形大学
- 吉田幹生 成蹊大学

# 現代の国語 ↓ 論理国語

大学入試を見据えハイレベルな教材を配列

## 3年間で現代文の重要テーマ！ 入試頻出著者を網羅

### 現代文評論教材関連表

#### 『現代の国語』 1年次

教材	著者	キーワード	テーマ
境目	川上弘美	具体と抽象	境界論
サイエンスの視点、 アートの視点	齋藤亜矢	二項対立	芸術論
ことばとは何か	内田 樹	分節化	言語論
デジタル社会	黒崎政男	メディアと 権力	情報論
システムと変異	中屋敷 均	進化論 生物多様性	生命論
ことばがつくる女と男	中村桃子	アイデンティティ、 構築主義	ジェンダー論
身体、この遠きもの	鷺田清一	自意識 身体	身体論
贈り物と商品の違い	松村圭一郎	商品化、コミュ ニケーション	贈与論
わかっていること と知らないこと	堀 正岳	気候変動、 統計	環境論
魂が自分でしつづけて語る 生活の話	Eシート／ 内山賢次 訳	帰納と演繹	推論
誰かの靴を履いてみるこ と	ブレイディ みかこ	社会と共同体、 貧困	社会学
〈私〉時代のデモクラシー	宇野重規	近代化	デモクラシー論
魔術化する科学技術	若林幹夫	合理主義、 仮説と反証	科学技術論
未来は存在しない	野矢茂樹	前提と命題、 真と偽	論理学
マルジャナーナの知恵	岩井克人	情報社会と 差異	経済学
ポスト真実時代の ジャーナリズム	国谷裕子	メディアリテラシ、 ポピュリズム	メディア論
会話と対話	長田 弘	公共圏と 親密圏	コミュニケーション論
記憶する体	伊藤亜紗	認知、感覚、 記憶	当事者論
贅沢の条件	山田登世子	物語、豊か さ	時間論
瓦を解かないこと	堀江敏幸	メタファーと メトニミー	レトリック
来るべき民主主義	國分功一郎	社会契約 主権者	政治論
主体という物語	小坂井敏晶	心理、無意識	心理学
開かれた文化	岡 真理	多文化主義、 他者、差別	文化論
リスクと近代社会	大澤真幸	セキュリティ と不安	リスク論
名づけと所有	西谷 修	西洋中心主義、 先住民、歴史認識	コロナ リスク論

#### 『論理国語』(第一部) 2年次

教材	著者	キーワード	テーマ
アイオワの玉葱	長田 弘	母語と 母国語	言語論
一〇〇パーセントは 正しくない科学	更科 功	仮説と検証	論理学
物語るといふ欲望	内田 樹	テクスト	物語論
ファッションの現象学	河野哲也	差異	ファッション論
地図の想像力	若林幹夫	近代	情報論
本当は怖い「前提」の話	川添 愛	前提と推論	論理学
近代の成立——遠近法	橋爪大三郎	主体	近代論
沖繩戦を聞く	岸 政彦	オラフル・ ヒストリー	社会学
デジタル化される世界	オリヴィ エ・レイ	自己定量化	統計論
人新世における人間	吉川浩満	SDGs	社会学
現代日本の開化	夏目漱石	日本と近代	近代論
変貌する聖女	川島慶子	フェミニズム	ジェンダー論
異時代人の目	若菜みどり	バイアス	歴史論
荘子	湯川秀樹	寓意	古典論
日本の社会は農業社会か	網野善彦	イデオロギ	歴史論
ファンタジー・ワールド の誕生	今福龍太	ツォリズム	文化人類学
生物の作る環境	日高敏隆	環世界	生物学
貧困は自己責任なのか	湯浅 誠	格差社会	貧困論
模倣と「なぞり」	尼ヶ崎 彬	身体	身体論
桜が創った「日本」	佐藤俊樹	構築主義	歴史論
清光館哀史	柳田國男	民俗学	民俗学
男の絆、女たちの沈黙	尹 雄大	ジェンダー	ジェンダー論
トリアージ社会	船木 亨	生権力	社会学
権力とは何か	杉田 敦	ナショナリズム	政治思想論
ビッグデータ時代の 「生」の技法	柴田邦臣	公共圏と 親密圏	テクノロ ジー論
「である」ことと 「する」こと	丸山眞男	法と制度	政治思想論

#### 『論理国語』(第二部) 3年次

教材	著者	キーワード	テーマ
「自然を守る」ということ	管 啓次郎	森岡正博	文化論
虚ろなまなざし	岡 真理	ヒューマンム	ヒューマンム
物語と歴史のあいだ	野家啓一	聞き親性	歴史論
貨幣共同体	岩井克人	共同体	経済論
ぼくらの民主主義なんだぜ	高橋源一郎	公共圏	政治思想論
つながりと秩序	北田暁大	メディア	現代社会学
真実の百面相	大森荘蔵	主観/客観	認識論
死の恐怖について	Eキュー ラーロス	ケア	死生学
ことばへの問い	熊野純彦	分節化	言語論
物語としての自己	野口裕一	アイデンティ ティ	心理学
ポピュリズムとは何か	森本あんり	分断	政治思想論
思考の誕生	蓮實重彦	対話	思想論
絵画の二十世紀	前田英樹	リアリズム	芸術論
日本文化私観	坂口安吾	美	美学
主義は広大なるべき事	福沢諭吉	「近代」と 漢文訓読体	啓蒙思想
自由の説	中江兆民	自由民権運動 と中江兆民	自由論
何のための「自由」か	仲正昌樹	アーキテクチャ	自由論
ものごと	木村 敏	対象	認識論
「病気」の向こう側	田中祐理子	パラタイム シフト	医学
過剰性と稀少性	佐伯啓思	他者の欲望	贈与論
記憶の満天	西谷 修	パースクティブ	時間論 認識論
戦争と平和について の観察	中井久夫	批判	戦争論



3年間で  
評論  
74本



# 現代の国語



# 文学国語

定番から最新まで

文学的表現も論理的思考も  
きちんとおさえる教材を厳選。

現代文評論・文学評論教材関連表

## 『現代の国語』1年次

教材	著者	キーワード	テーマ
● 境目	川上弘美	具体と抽象	境界論
● サイエンスの視点、アートとの視点	齋藤亜矢	二項対立	芸術論
● ことばとは何か	内田 樹	分節化	言語論
● デジタル社会	黒崎政男	メディアと権力	情報論
● システムと変異	中屋敷 均	進化論、生物多様性	生命論
● ことばがつくる女と男	中村桃子	アイデンティティ、構築主義	ジェンダー論
● 身体、この遠きもの	鷺田清一	心身三元論自意識	身体論
● 贈り物と商品の違い	松村圭一郎	商品化、コミュニケーション	贈与論
● わかっていることと知らないこと	堀 正岳	気候変動、統計	環境論
● 兎が自分でつづいて語る生活の話	E.シートン 内山賢次 訳	帰納と演繹	推論
● 誰かの靴を履いてみる	ブレイディみかこ	社会と共同体、貧困	社会学
● 〈私〉時代のデモクラシー	宇野重規	近代化	デモクラシー論
● 魔術化する科学技術	若林幹夫	合理主義、 仮説と反証	科学技術論
● 未来は存在しない	野矢茂樹	前提と命題、真と偽	論理学
● マルジャーナの知恵	岩井克人	情報社会と差異	経済学
● ポスト真実時代のジャーナリズム	国谷裕子	メディアリテラシー、 ポロリズム	メディア論
● 会話と対話	長田 弘	公共圏と親密圏	コミュニケーション論
● 記憶する体	伊藤亜紗	認知、感覚、記憶	当事者論
● 贅沢の条件	山田登世子	物語、豊かさ	時間論
● 瓦を解かないこと	堀江敏幸	メタファーと メトニミー	レトリック
● 来るべき民主主義	國分功一郎	社会契約、主権者	政治論
● 主体という物語	小坂井敏晶	心理、無意識	心理学
● 開かれた文化	岡 真理	多文化主義、 他者、差別	文化論
● リスクと近代社会	大澤真幸	セモユリティと不安	リスク論
● 名づけと所有	西谷 修	西洋中心主義、 先住民、歴史認識	コロラリズム論

## 『文学国語』(第一部) 2年次

教材	著者	キーワード	テーマ
● プラスチック膜を破って	梨木香歩	自分の殻を破る	コミュニケーション論
● 情報の彫刻	原 研哉	メディアと身体	文学とメディア
● バイリンガリズムの政治学	今福龍太	ポストコロニア リズム・越境	紀行文
● 実体の美と状況の美	高階秀爾	発見された 「日本の美」	文学と美術
● メディアと倫理	和田伸一郎	映像メディアと編集	文学とメディア
● ラムネ氏のこと	坂口安吾	リテラシーと レトリック	文学とメッセージ
● 異なり記念日	齋藤陽道	コミュニケーション ジョン・モード	コミュニケーション論
● 記号論と生のリアリティ	立川健二	認識・言語・分節化	言語・記号論
● 金縷いの景色	藤原辰史	破壊と再生	文学と伝統
● 死者の声を運ぶ小舟	小川洋子	亡くなった人たちの 声に耳を傾ける	文学論
● 論語——私の古典	高橋和巳	『論語』の魅力・ 古典の味わい	古典論
● 空と風と星と詩	茨木のり子	韓国の文化・文学	詩論
● 未来をつくる言葉	ドミナ・チエン	身体と他者	文学と翻訳
● 建築論ノート	松山 巖	引用	文学と建築
● 能 時間の様式	杉本博司	共感と鎮魂	文学と古典芸能
● 化物の進化	寺田寅彦	パラダイム・シフト	文学と科学
● 文学の仕事	加藤周一	アイデンティ ティの二側面	文学論

## 『文学国語』(第二部) 3年次

教材	著者	キーワード	テーマ
● 小説とは何か	三島由紀夫	柳田國男と民俗学	小説論
● 陰翳礼讃	谷崎潤一郎	日本文化論	文学と美学
● みづの上日記	樋口一葉	女性職業作家の 先駆け	近代文学
● へうだででき 場所の言葉	吉田文憲	コミュニケーション	文学とことば
● 絵画は紙幣に憧れる	榎木野衣	オリジナルと模倣	文学と芸術
● 隠れん坊の精神史	藤田省三	遊戯・子ども	文学と哲学
● 無常ということ	小林秀雄	偉大な思索者・ 小林秀雄	文学と思想
● 骨とまぼろし	真木悠介	異なる言語、 異なる文化の魅力	紀行文
● ある〈共生〉の経験から	石原吉郎	想像する力	文学と平和
● 寛容は自らを守るために不寛容 に対して不寛容になるべきか	渡辺一夫	二者択一の罠	文学と思想
● チャンピオンの定義	大江健三郎	ことばと文学	文学論



3年間で  
評論・文学評論

53本

評論

文学評論

文学評論

教科書

デジタル教科書

指導書

課題ノート

周辺教材

# 言語文化 ↓ 文学国語

豊かなレトリック表現の読解に

## 近代以降の文学的文章を しっかり身につける

現代文教材関連表



文国708

言文712

3年間で  
随想・評論

33本

3年間で  
小説

14本

詩歌	随想・評論	小説
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小諸なる古城のほitori 島崎藤村</li> <li>● 竹 萩原朔太郎</li> <li>● 樹下の二人 高村光太郎</li> <li>● 二十億光年の孤独 谷川俊太郎</li> <li>● 産 石垣りん</li> <li>● I was born 吉野弘</li> <li>● 短歌</li> <li>● 俳句</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 余が言文一致の由来 二葉亭四迷</li> <li>● なぜ日本語で書くのか リード英雄</li> <li>● 虹の雌雄 蜂飼耳</li> <li>● 失われた両腕 清岡卓行</li> <li>● 物語る声を求めて 津島佑子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 羅生門 芥川龍之介</li> <li>● 夢十夜 夏目漱石</li> <li>● 待ち伏せ ティムオプライン</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 異なり記念日 齋藤陽道</li> <li>● 記号論と生のリアリティ 立川健二</li> <li>● 金繕いの景色 藤原辰史</li> <li>● 死者の声を運ぶ小舟 小川洋子</li> <li>● 論語—私の古典 高橋和巳</li> <li>● 空と風と星と詩 茨木のり子</li> <li>● 未来をつくる言葉 ドミニク・チエン</li> <li>● 建築論ノート 松山巖</li> <li>● 能 時間の様式 杉本博司</li> <li>● 化物の進化 寺田寅彦</li> <li>● 文学の仕事 加藤周一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 山月記 中島敦</li> <li>● 神様 川上弘美</li> <li>● こころ 夏目漱石</li> <li>● 捨てない女 多和田葉子</li> <li>● 魂込め 目取真俊</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小景異情 室生犀星</li> <li>● サークラス 中原中也</li> <li>● 永訣の朝 宮澤賢治</li> <li>● 短歌 斎藤茂吉</li> <li>● 死にたまふ母</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無常ということ 小林秀雄</li> <li>● 骨とまぼろし 真木悠介</li> <li>● ある〈共生〉の経験から 石原吉郎</li> <li>● 寛容は自らを守るために不寛容 渡辺一夫</li> <li>● チャンピオンの定義 大江健三郎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 舞姫 森 鷗外</li> <li>● 靴 安部公房</li> <li>● 水仙 太宰治</li> <li>● 王国 津村記久子</li> <li>● 藤野先生 魯迅</li> <li>● 沈黙 村上春樹</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小説とは何か 三島由紀夫</li> <li>● 陰翳礼讃 谷崎潤一郎</li> <li>● みづの上日記 樋口一葉</li> <li>● 〈つたでき〉場所の言葉 吉田文憲</li> <li>● 絵画は紙幣に憧れる 榎木野衣</li> <li>● 隠れん坊の精神史 藤田省三</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 『舞姫』と日本の近代小説と現実</li> <li>● 『自己を愛するドラマ—太宰治の文学』物語の持つ力</li> <li>● 近代日本とアジア小説の中の人間関係</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 偉大な思索者・異なる言語・異なる文化の魅力 想像する力</li> <li>● 二者択一の畏 ことばと文学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 柳田國男と民俗学 日本文化論</li> <li>● 女性職業作家の先駆け</li> <li>● コミュニティ・共同体 オリジナルと模倣</li> <li>● 遊戯・子ども</li> </ul>

# 言語文化 ↓ 古典探究

基礎から大学入試まで

**3年間でこれだけ学べる。**  
**時代・ジャンルを網羅した**  
**圧倒的な教材数。**

古典教材関連表



3年間で  
**古文**  
**118本**

3年間で  
**漢文**  
**82本**

評論	思想	小説	文章	漢詩	史伝	故事成語	評論・伝承・芸能	小説	和歌・俳諧	日記	随想	物語	説話
	論語 老子		列子／莊子・朝三暮四・雜說	登鸞鶴樓・鹿柴・秋風引・江雪・涼州詞 望廬山瀑布・江南春・過故人莊・登岳陽樓 香爐峰下、新下山居、草堂初成、偶題東壁	日本書紀・憲法十七条 十八史略・管鮑之交・刺客荆軻・死諸葛走生仲達 日本外史・那須宗高	守株・推敵・借虎威・漁夫之利・塞翁馬	『言語文化 漢文編』1年次		万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 奥の細道・序・白河の関・立石寺	土佐日記・門出・亡き児をしのぶ・帰京 更級日記・東路の道の果て・をかしげなる猫		徒然草・つれづれなるままに・丹波に出雲といふ所あり ある人、司射ることを習ふに・名を聞くより、 やがて面影は・花は盛り 方丈記・ゆく河の流れ・仮の庵	宇治拾遺物語・児のそら寝 十訓抄・大納言顯雅卿 宇治拾遺物語・絵仏師良秀 十訓抄・大江山
	論語 孟子 荀子		鶴之報恩・売鬼・王昭君	独坐敬亭山・登樂遊原・九月九日憶山東兄弟 芙蓉樓送辛漸・楓橋夜泊・野望・旅夜書懷 八月十五夜、禁中獨直、對月憶元九・遊山西村 聞旅雁・即事・無題	史記・天道是邪、非邪・鴻門之會・四面楚歌 近古史談・稻葉一徹	知音・曳尾於塗中・先從隗始	『古典探究・漢文編』(第一部)2年次		万葉の歌 王朝の歌 中世の歌 近世の句 おらが春・愛児さと	更科日記・継母との別れ・源氏の五十余巻 蜻蛉日記・嘆きつつ・道綱鷹を放つ		伊勢物語・初冠・月やあらぬ・行く虫・狩りの使ひ 渚の院・小野の雪・とみの文・つひにゆく 大和物語・姨捨・鹿の声 堤中納言物語・虫めづる姫君 落窪物語・落窪の君 源氏物語・光源氏の誕生・飽かぬ別れ 藤原の怪・若紫の君 大鏡・雲林院にて・花山院の出家・公任、三船の誉れ 平家物語・忠度の都落ち・能登殿の最期 太平記・千早城の戦い	宇治拾遺物語・袴垂、保昌にあふこと・獵師、仏を射ること 古今著聞集・刑部卿敦兼の北の方
	老子 莊子 韓非子 墨子		離魂記・人面桃花	桃夭・秋風辭・薤露・飲酒 其五・送別・漁翁 石壕吏・長恨歌	史記・怒髮上衝冠・劓頸之交・国士無双 日本外史・信玄何在	断腸・蠅螂之斧・愚公移山	『古典探究 漢文編』(第二部)3年次		西鶴諸国はなし・忍び扇の長歌 雨月物語・浅茅が宿	紫式部日記・土御門殿の秋・和泉式部と清少納言 和泉式部日記・夢よりもはかなき世の中を 建礼門院右京大夫集・なべて世の 十六夜日記・関の藤川		源氏物語・車争ひ・心づくしの秋・母子の別離・暁の雪 萩のうは露・霧の中のかいま見・髪の香 大鏡・菅公配流・宣耀殿の女御・中宮安子の嫉妬 肝試し・道長、榮華への第一歩 増鏡・後鳥羽院・隠岐配流	今昔物語集・鷲にさらわれた赤子 賀茂の祭りを見物する翁

教科書

デジタル教科書

指導書

課題ノート

周辺教材

特徴

- ◎ 筑摩書房のデジタル教科書は「みらいスクールプラットフォーム」を採用しています。
- ◎ 学習に便利な機能を搭載しています。
- ◎ OS は、Windows、iOS、ChromeOS に対応しています。
- ◎ 利用者端末へのインストール版(Windows端末のみ)・サーバー配信版と、クラウド版を用意しています。学校の設備環境に合わせて利用できます。

ポイント7

**ペン・マーカー**  
紙面に書きこみができます。色・透明度・太さも自由に設定できます。



ポイント6

**図形/スタンプ**  
紙面に様々なスタンプが押せます。線や丸・四角などの図形を加えることができます。



ポイント5

**道具機能**  
ふせん・ポインター・タイマー/ストップウォッチがついています。



ポイント4

**消しゴム**  
消す機能は、4つの機能を用意しました。



ポイント3

**デジタルコンテンツ**  
学習を助ける資料や、教材理解の参考になるインターネット上のウェブサイト・画像・動画などを表示できます。

# ビューアーの特徴と使い方

教科書をもとに、授業をサポートするコンテンツを搭載いたしました。

ポイント1

**記録**  
書き込みなど、紙面に付加した情報は「保存」することができます。



ポイント2

**表示**  
画面いっぱい大きく見ることができる「全画面表示」などがあります。



指導者用・学習者用デジタル教科書のご案内  
教科書本文を中心に、便利な機能をそろえました。

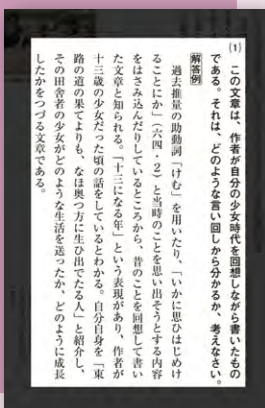
特徴

- ◎解答表示がスムーズに。  
教科書の「学習の手引き」「脚問」の解答を簡単に表示することができます。
- ◎品詞分解・書き下し文・現代語訳を表示。  
古典教材では教科書から品詞分解・書き下し文・現代語訳を簡単に表示することができます。
- ◎朗読音声を聞くことができます。(一部教材)
- ◎副読本『読解 古文単語 343』『詳説 古典文法 改訂版』『詳説 漢文句法 改訂版』などのリンクも充実。授業が進めやすくなります。

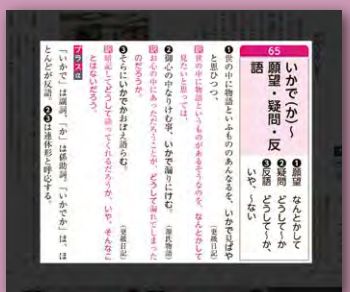
ポイント 7

手引きの解答例

各教材の末尾の手引きについて、問題文をクリックすることで解答例(指導書掲載)を表示できるようにしました。



ポイント 6



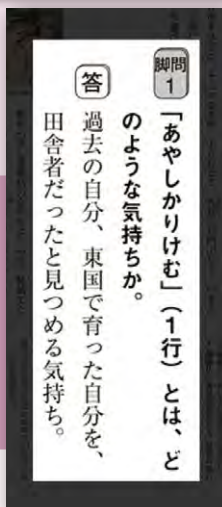
古文単語

古文教材の脚注欄に記載した「注意する語句」のうち、『読解 古文単語 343』で解説しているものに関して、語句をクリックすることで同書の解説ページを表示できるようにしました。

ポイント 5

脚問の解答例

問題文をクリックすることで解答例(指導書掲載)を表示できるようにしました。



ポイント 4

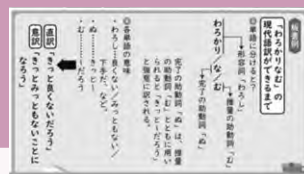
板書例

指導書掲載の板書例を適宜表示することができます。

例 1



例 2



ポイント 3

現代語訳

主に古文/漢文教材において、その現代語訳を別タブで表示できます。上から書き込みも可能です。



# 指導者用デジタル教科書の特徴

クラウド版 (1ライセンスあたり 10 ID) / DVD-ROM 版

教科書本文を中心に、便利な機能をそろえました。

ポイント 1

朗読

朗読音声の用いられている教材において、朗読音声を再生できます。(別売の「朗読CD」もご用意しています。一部、CDには収録されていない作品もあります。)

朗読: 壤晴彦・竹下景子・李軼倫

「朗読CD」の詳細は → P63



ポイント 2

品詞分解

古文教材において、文章を構成する単語の品詞・活用・活用形などの傍注を付したテキストを別タブで表示できます。上から書き込みも可能です。



# 学習者用デジタル教科書の特徴

クラウド版：1ライセンスあたり 1 ID

- ◎教科書にlinkマークのある教材は、インターネット上の参考ページにリンクします。
- ◎「拡大」「ページ送り・戻り」「ペン・消しゴム」という基本機能は常時掲示、いつでもすぐに使えます。

## 運用方法と動作環境

運用方法と使用媒体、対応OS				
運用方法	使用媒体	インストール先	サーバー OS	利用者端末 OS
端末インストール (スタンドアロン)	DVD	各利用者端末にインストールして使用	—	Windows 10 / 11
サーバー配信	DVD	学校・教育委員会のサーバー機にインストールして使用 (サーバーに各利用者端末でアクセスして使用)	Windows Server 2016	Windows 10 / 11
			Windows Server 2019 等 ウェブサーバー (Apache, IIS) が動作するOS	
クラウド配信	—	インストール不要 (当社指定のクラウドサーバーに各利用者端末のブラウザでアクセスして使用)	—	—

動作環境 (サーバー)	
OS	Windows Server 2016 Windows Server 2019等
ハードディスク	Server 2019等ウェブサーバー (Apache, IIS) が動作するOS
DVD-ROMドライブ	各教科 1 学年ごとに約 4 GB以上の空き容量が必要
通信環境	インストール時に必要 100BASEイーサネット以上を推奨

動作環境 (利用者端末)	
OS	Windows 10 / 11, iPadOS, Chrome OS
CPU	上記OSが快適に動作すること (指導者用はcore i3 程度を推奨)
メモリ	上記OSが快適に動作すること
▶インストールして利用する場合	
ハードディスク	各教科 1 学年ごとに約 4 GB以上の空き容量が必要
DVD-ROMドライブ	インストール時のみ必要
▶配信で利用する場合	
通信環境	100BASEイーサネット以上を推奨 (1クライアントあたり1Mbps以上の転送速度を確保できること)
ブラウザ	Windows : Internet Explorer 11, Edge, Chrome, iOS : Safari, Chrome OS : Chrome

画面解像度  
1366×768 px 以上 (1920×1080 px 程度を推奨)  
※設定により一部表示できない場合がございます。

ブラウザの設定  
JavaScript : ON Cookie : ON  
※記載外のOS・ブラウザ意外では正常に表示されない場合があります。

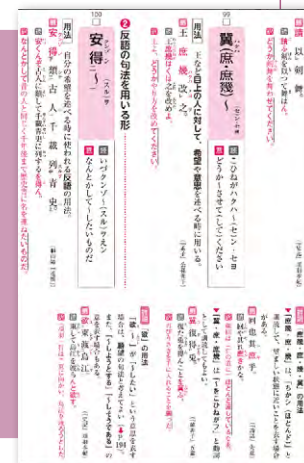
その他  
※筑摩書房のデジタル教科書は、『みらいスクールプラットフォーム』(https://www.mirai-school.jp/platform/)を採用しています。  
※IE 11は自動音声読み上げが非対応のほか、一部機能に制限がかかる場合があります。  
※開発のため、内容・仕様に関しては予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※特設サイトでデジタル教科書のサンプルをご覧ください。

特設サイト



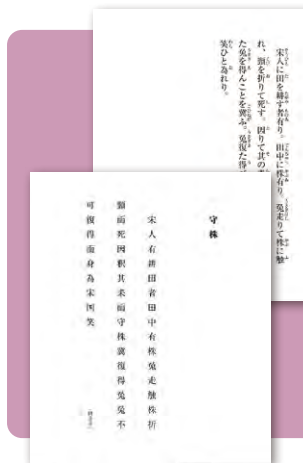
### ポイント 9

古典文法・句法  
「古典文法の窓」および「句法のまとめ」には、それぞれ『詳説 古典文法 改訂版』『詳説 漢文句法 改訂版』をリンクしました。



### ポイント 8

訓読・白文  
訓読では書き下し文を、白文は返り点のない原文を別タブで表示できます。上からの書きこみも可能です。



このほか、次のようなことを示すことができます。

- ・「歌意」：短歌の大意を示す。
- ・漢詩については、中国語と日本語、二種類の朗読をご用意しています。

# 『学習指導の研究』のご案内

## 教師用指導資料

### 特色 1

具体的な授業の流れがイメージできるように「学習指導の展開例」や「板書例」を例示、また「発問例」の難易度なども示しました。

### 特色 2

同じ学年を担当される先生方の間での「共通基盤」を示すガイドとなるように、「教材のねらい」で、指導のポイントをコンパクトにまとめました。

### 特色 3

評価問題例には、「基本」「標準」のほか、「発展」として、教科書掲載の教材以外の文章も用意しました。

### 特色 4

教科書掲載の「実践の解説や、アクティブ・ラーニング例に関する指導資料は、一冊にまとめました。

### 特色 5

授業に役立つ資料やワークシート、評価例などを「オンライン指導資料」のサイトからダウンロードできます。

## 目次

単元の解説	29
教材のねらい	30
学習指導の展開例	32
出典・作者解説・作品解説	34
要旨・主題	36
意味段落の要旨	38
全体の構成図	39
叙述と注解／学習のポイント／ 発問例／脚問の解答例	40
キーワード	42
作品解説	43
参考資料	44
参考文献	45
「学習」の解説と解答例	46
品詞分解（古文）	48
総ルビ付き本文・現代語訳（古文） 総ルビ付き訓読現代語訳／ 叙述と注解／発問例（漢文）	49
評価問題	50
プリント集	54

# 準拠課題ノートのご案内

生徒の自学自習に役立ちます。

● B5判の書き込み式準拠ノートです。

● 予習・復習や、授業では扱えなかった教材の自習などに便利です。

※ 指導書付属CD-ROM内の「オンライン指導資料」にデータが入っています。

## 第14章

想像力がひろく世界

羅生門

芥川龍之介

教科書  
214～226  
ページ

### ◆漢字と語句の確認◆

1 漢字 傍線部の漢字は読みを、カタカナは漢字を答えなさい。

- |            |          |       |       |
|------------|----------|-------|-------|
| ① 丹塗りが剥げる  | ⑩ 行く手を塞ぐ | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ② 紺色の服     | ⑪ 罵る     | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ③ 盗人       | ⑫ 鋼の刃    | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ④ 町が衰微する   | ⑬ 喉元     | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑤ 飢え死にする   | ⑭ 侮蔑の表情  | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑥ 憂える      |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑦ 濁った黄色    |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑧ 無造作      |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑨ 語弊がある    |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑫ コウテイ的    |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑬ 天井のシミ    |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑭ ひどいシユウ気  |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑮ 花瓶に花をサす  |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑯ ミレンを感じる  |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑰ 大マタで歩む   |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑱ ヘイボンな答え  |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ⑳ ヘビをつかまえる |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |
| ㉑ ケル       |          | ⑲ ヒマを | ⑲ ヒマを |

2 語句 傍線部の語句と同じ意味の語句を選びなさい。

- |           |           |         |            |
|-----------|-----------|---------|------------|
| ① とりとめもない | ア まとまりのない | イ 意味のない | ウ 希望のない    |
| ② 高をくくる   | ア 軽く見積もる  | イ 高さを測る | ウ 気持ちが落ち込む |
| ③ 存外      | ア 案外      | イ 屋外    | ウ 言外       |
| ④ 冷然      | ア 落ち着いた態度 | イ 冷淡な態度 | ウ 嬉しそうな態度  |
- 3 語句 次の語句の対義語を書きなさい。
- ① 失望する
- ② 平凡
- ③ 語句 次の語句を用いて短文を作りなさい。
- ④ 大目に見る
- ⑤ 途方に暮れる

教材の舞台・背景や段落の要旨などをまとめる課題です。

漢字や語句などの課題を教材ごとに付しました。

### ◆段落構成の整理◆

・次の空欄に本文中の語句を補いなさい。

● 第一の場面(初め～二七・一七)

ある日の①、一人の下人が②の下で、雨やみを待っていた。都は地震や辻風、火事、飢饉などの③が相次いでいた。主人から暇を出された下人には、行く先がなかった。しかし、④になることも、⑤することも選択しかねて、一夜を過ごそうとして、楼の上ののぼりはじめた。

● 第二の場面(二二八・一～二二〇・一)

下人が楼にのぼってみると、誰かが火を動かしている。中をのぞくと、火をともした⑥を持って、⑦が⑧の髪の毛を抜いている。下人は、六分の⑨と四分の⑩とに動かされて、しばらくは呼吸をするのさえ忘れた。しかし、しだいに下人の心には、⑪に対する⑫が動いてきた。第三の場面(二二〇・一四～二二四・四)

下人が老婆を捕らえて問い詰めたところ、老婆は、⑬をしないために仕方がなくすることは許されるという。それを聞いた下人の心には、⑭が生まれた。そして、老婆から⑮を奪い、老婆を蹴倒して楼の梯子をかけた下りた。

● 第四の場面(二二四・五～終わり)

下人が去った後、老婆は⑯の口まで追っていた。しかし、外には⑰たる夜があるばかりで、下人の行方はわからない。

### ◆文脈と文意の整理◆

1 「この男のほかに誰もいない」(二二四・二)とあるが、下人しかない状況の説明した次の文の空欄を補いなさい。

この二、三年、①に災いが続いたため、洛中はさびれ、羅生門を修理する者などいない。すると、荒れ果てたのをよいことに、捨て場所になる。そのために、人々は羅生門に近づかない。そのうえ、刻限が遅く、いつもいる②も一羽もない。ただ、③が一匹だけ円柱にとまっている。

2 下人の風貌・特徴がよくわかる、一文の最初の五字を抜き出しなさい。

□□□□□

教材読解のポイントを課題形式でまとめました。

「言語文化」羅生門(芥川龍之介)の準拠課題ノート



句法などの課題を教材ごとに付しました。

文法・古語などの課題を教材ごとに付しました。

第1章

古文への扉

児のそら寝

教科書 19～21 ページ

◆文法と語句の確認◆

1 文法 次の表のワ行の空欄に、歴史的仮名遣いを、ア行にならって書き入れなさい。

ワ行		行段	ア段	イ段	ウ段	エ段	オ段
	あ		ア		い		イ
					う		ウ
						え	エ
							お
							オ

2 文法 次の傍線部を現代仮名遣いになおしなさい。

- ①よひのつれづれに
- ②寝ざらむも
- ③待ちあたるに
- ④うれしとは思へども

⑤いまひとこゑ

⑥ただ食ひに食ふ音のしければ

⑦いらへむ

⑧おどろかせたまへ

3 語句 次の語句の意味を書きなさい。

- ①つれづれ (一九・一)
- ②わろし (同・三)
- ③いらふ (二〇・一)

第12章

読みつがれることば

朝三暮四

列子・荘子

教科書 198～199 ページ

◆語句と句法の確認◆

1 語句 次の語句の意味を答えなさい。

- ①将<sub>レ</sub>限<sub>二</sub>其食<sub>一</sub>。(一九八・三)
- ②勞<sub>二</sub>神明<sub>一</sub>為<sub>レ</sub>一、而不<sub>レ</sub>知<sub>二</sub>其同<sub>一</sub>也。(一九九・一)

2 句法 次の句法の意味と種類を、あとから記号で答えなさい。

- ①能<sub>レ</sub>
  - ②將<sub>レ</sub>
  - ③何<sub>レ</sub>
- ア 何をくするの  
イ これからくしようとする・くしたい  
ウ くできる
- a 再読文字・意思・推量  
b 可能  
c 疑問
- 意味 種類  
意味 種類  
意味 種類

◆文脈と文意の整理◆

1 「宋有<sub>二</sub>狙公者<sub>一</sub>」(一九八・一)を書き下し文にしたときの、①主語、②述語、③連用修飾語にあたる部分を書きなさい。

①

②

③

2 副詞の①「俄」(一九八・二)と②「俄」(同・五)が本文中で果たして

いる表現効果を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 「衆狙」に考える時間を与えなかったことを表す。
- イ 「狙公」の対策が一時しのぎであったことを表す。
- ウ 状況の転換を表す一方、本旨に向かう契機としている。

3 「朝三暮四」(「列子」)の本文にある三種類の置き

- ア 強調 イ 疑問
  - ウ 対象 エ 接続
- 置き字 種類

4 「朝三暮四」(「列子」)について、「衆狙」はなぜ

- ア 夕方に実を多くもらうより、朝に多くもらうが
- イ 実が減らされるのではないと分かったから。
- ウ あとのほうが実は多くもらえるところから。

5 「朝三暮四」(「荘子」)の方は、何を言おうとして

別冊解答つき。

解答

# 指導資料一覧

評価問題・教科書紙面 PDF・実践用ワークシート・

図解穴埋めワークシート・ルーブリック評価シートなど、さらに充実しました。

指導資料各種の内容		現代の国語 (現国712) 本体20,000円	言語文化 (言文712) 本体26,000円
指導書『学習指導の研究』(A5判)		4分冊	5分冊
指導資料データ (CDROM)	教科書本文データ	一太郎・Word	一太郎・Word
	訓点付き漢文原文データ	—	一太郎・Word・PDF
	古文品詞分解	—	一太郎・Word
	漢文書き下し文	—	一太郎・Word
	古文・漢文現代語訳	—	一太郎・Word
	〈テスト・評価問題〉基本問題	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
	〈テスト・評価問題〉標準問題	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
	〈テスト・評価問題〉発展問題	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
	〈テスト・プリント〉小テスト問題	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
	漢文編集システム	—	一太郎・Word
オンライン指導資料	教科書紙面PDF	PDF	PDF
	課題ノートデータ	一太郎・Word	一太郎・Word
	授業用プリント	一太郎・Word	一太郎・Word
	実践用ワークシート	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
	図解穴埋めワークシート	PDF	—
	授業用図版素材	PDF	PDF
	ルーブリック評価シート	Excel	Excel
	学習link集	デジタル・コンテンツ	デジタル・コンテンツ
朗読CD	—	※別売 本体6,000円(2枚組)	
指導書分冊『学習指導の研究』PDFファイル版	※別売 本体5,000円	※別売 本体6,000円	

論理国語 (論国710) 本体34,000円	文学国語 (文国708) 本体34,000円	古典探究 (古探715 / 716) 本体36,000円
5分冊	5分冊	6分冊
一太郎・Word	一太郎・Word	一太郎・Word
—	—	一太郎・Word・PDF
—	—	一太郎・Word
—	—	一太郎・Word
一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
—	—	一太郎・Word
PDF	PDF	PDF
一太郎・Word	一太郎・Word	一太郎・Word
一太郎・Word	一太郎・Word	一太郎・Word
一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF	一太郎・Word・PDF
PDF	—	—
PDF	PDF	PDF
Excel	Excel	Excel
デジタル・コンテンツ	デジタル・コンテンツ	デジタル・コンテンツ
—	※別売 本体8,000円(3枚組)	※別売 本体6,000円(2枚組)
※別売 本体6,000円	※別売 本体6,000円	※別売 本体6,000円

## 指導書『学習指導の研究』の内容

全体を次の項目で構成しています。

- 単元の解説
 

単元のねらい・教材編集の意図・この単元で身につく能力・資質
- 教材のねらい
 

教材ごとに見開きで指導のポイントを解説
- 学習指導の展開例
 

教材の指導計画(配当時間)・指導目標・学習活動・指導上の留意点
- 出典
- 著者(作者)解説
- 要旨(主題)
 

100字・200字の二種
- 意味段落の要旨
 

教材の全体を意味段落による表で示し、各段落の内容を要約
- 全体の構成図
 

教材本文の流れをチャート形式で図解(※現代文教材のみ)
- 叙述と注解
 

教材本文の語句の解説や、文脈上での叙述の解釈
- 学習のポイント
 

授業前のトピックの紹介や、各段落の要点を整理(※現代文教材のみ)
- 発問例/脚問の解答
 

教科書収録の脚問と、発問例・解答。各問には難易度を表示
- 板書例
 

授業の要所要所で示す板書例
- キーワード
 

本文理解に重要なキーワードを解説(※現代文教材のみ)
- 作品解説(鑑賞)
- 参考資料
- 参考文献
- 手引きの解答例・指導上の留意点
- オンライン指導資料
 

古文・漢文教材には、このほかに以下の項目があります。

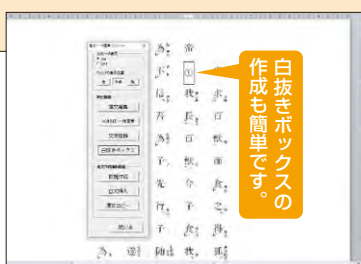
  - 品詞分解 ※古文編
  - 総ルビ付き本文 ※古文編
  - 総ルビ付き訓読(書き下し文) ※漢文編
  - 現代語訳 ※古文編・漢文編

## 漢文編集システム

漢文の問題作成も手軽にできます。

- ①パソコンに新たなソフトをインストールする必要なし。  
(Microsoft Word® を利用した全く新しい編集システム)
- ②返り点や送り仮名などの訓点・傍線・記号などの入力・加工が簡単にできます。
- ③編集システムを利用してオリジナル訓点付き本文も作成できます。

動作環境/対応 OS : Windows 10,11 / 対応ソフト : Microsoft Word 2003 以降



## オンライン指導資料

指導書『学習指導の研究』を通して、下記のオンライン指導資料が利用できます。

実践用ワークシート

図解穴埋めワークシート

「観点別評価例」は、指導書に掲載いたします。ここでは、「現代の国語1第1講(問うこと、語ること)」「科目」PHOの観点別評価例を、一例としてご紹介します。

学習指導要領の項目	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する	評価
読解	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	読解力
言葉遣い	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	読解力
漢字	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	読解力
内容把握	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	読解力
キーワードの把握	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	読解力
読解力・判断力・表現力	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	「発問」(問)に用いられている助意を正しく理解し、適切な回答ができる。	読解力

# 授業をサポートする周辺教材のご案内

## 朗読CD 指導資料

『言語文化』  
朗読CD 2枚組  
本体6,000円+税  
/ ISBN 978-4-480-90583-3

『文学国語』  
朗読CD 3枚組  
本体8,000円+税  
/ ISBN 978-4-480-90598-7

『古典探究  
(古文編・漢文編)』  
朗読CD 2枚組  
本体6,000円+税  
/ ISBN 978-4-480-90599-4

## 準拠課題ノート一覧 学校専売品

現国712  
**現代の国語**  
課題ノート  
B5判/別冊解答付/  
書き込み式/96頁/  
本体500円+税  
ISBN 978-4-480-91055-4

言文712  
**言語文化**  
課題ノート  
B5判/別冊解答付/  
書き込み式/128頁/  
本体550円+税  
ISBN 978-4-480-91054-7

論国710  
**論理国語** 課題ノート  
B5判/別冊解答付/書き込み式/160頁  
本体770円+税 ISBN 978-4-480-91056-1

文国708  
**文学国語** 課題ノート  
B5判/別冊解答付/書き込み式/144頁  
本体770円+税 ISBN 978-4-480-91057-8

古探715・716  
**古典探究** 課題ノート  
[古文編・漢文編]  
B5判/別冊解答付/書き込み式/240頁  
本体840円+税 ISBN 978-4-480-91058-5

## 補助教材集

**ちくま文学講読〈初級編〉** 監修 安藤 宏  
東京大学 紅野謙介  
A5判/128頁/本体560円+税/ISBN 978-4-480-91091-2

文学の世界を広げる準教科書。1年生でもっと文学的文章を生徒に触れさせたい先生方に!

\*指導資料も完備(別売)\* 学校専売品  
指導用資料(冊子) 評価問題・本文データ(CD-ROM)付  
A5判/368頁/本体7,000円+税/ISBN 978-4-480-90584-0



**ちくま文学講読〈上級編〉** 監修 安藤 宏  
東京大学 紅野謙介  
A5判/256頁/本体900円+税/ISBN 978-4-480-91740-9

文学の世界を深める準教科書。2・3年生で必須の文学的文章を扱いたい先生方に!

\*指導資料も完備(別売)\* 学校専売品  
指導用資料(冊子) 評価問題・本文データ(CD-ROM)付  
A5判/792頁(予定)/本体9,000円+税/ISBN 978-4-480-91744-7



## デジタル教科書 指導資料

## 学校専売品



**現代の国語** 指導者用デジタル教科書(DVD-ROM版)  
本体50,000円+税/ISBN 978-4-480-90581-9  
**現代の国語** 指導者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 10 ID  
本体52,000円+税/ISBN 978-4-480-90582-6

**現代の国語**  
学習者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 1 ID  
本体1,500円+税/  
ISBN 978-4-480-91097-4



**言語文化** 指導者用デジタル教科書(DVD-ROM版)  
本体60,000円+税/ISBN 978-4-480-90580-2  
**言語文化** 指導者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 10 ID  
本体62,000円+税/ISBN 978-4-480-90579-6

**言語文化**  
学習者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 1 ID  
本体1,800円+税/  
ISBN 978-4-480-91099-8



**論理国語** 指導者用デジタル教科書(DVD-ROM版)  
本体32,000円+税/ISBN 978-4-480-90594-9  
**論理国語** 指導者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 10 ID  
本体34,000円+税/ISBN 978-4-480-90591-8

**論理国語**  
学習者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 1 ID  
本体1,500円+税/  
ISBN 978-4-480-91100-1



**文学国語** 指導者用デジタル教科書(DVD-ROM版)  
本体36,000円+税/ISBN 978-4-480-90595-6  
**文学国語** 指導者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 10 ID  
本体38,000円+税/ISBN 978-4-480-90592-5

**文学国語**  
学習者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 1 ID  
本体1,500円+税/  
ISBN 978-4-480-91101-8



**古典探究** [古文編・漢文編]  
指導者用デジタル教科書(DVD-ROM版)  
本体36,000円+税/ISBN 978-4-480-90597-0  
**古典探究** [古文編・漢文編]  
指導者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 10 ID  
本体38,000円+税/ISBN 978-4-480-90593-2

**古典探究** [古文編・漢文編]  
学習者用デジタル教科書(クラウド版)  
\*1ライセンスあたり 1 ID  
本体1,700円+税/  
ISBN 978-4-480-91102-5

## デジタル教科書関連書 次の副読本は、筑摩書房版デジタル教科書に関連づけられています。



**詳説 古典文法 改訂版**  
井島正博 著 伊藤博美・仲島ひとみ 著  
\*指導資料・補充問題データCD-ROM  
A5判/別冊解答付/176頁/  
本体680円+税/ISBN 978-4-480-91737-9  
学校専売品

**詳説 古典文法 改訂版**  
準拠 学習ノート  
『詳説古典文法 改訂版』編集委員会 編著  
B5判/別冊解答付/64頁/  
本体500円+税/ISBN 978-4-480-91092-9  
学校専売品



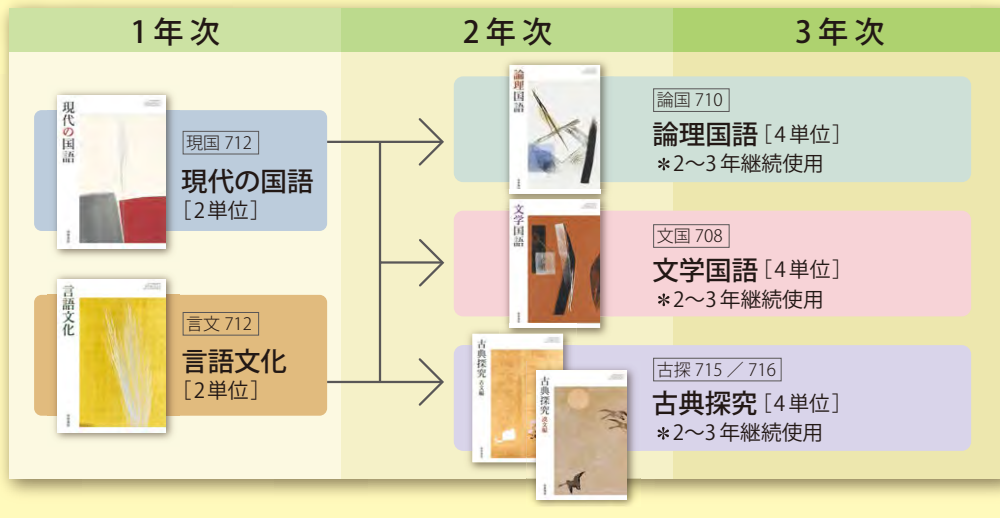
**詳説 漢文句法 改訂版**  
三上英司 編著 石村貴博・大橋賢一・泊 功 著  
\*評価問題データCD-ROM  
A5判/別冊解答付/224頁/  
本体700円+税/ISBN 978-4-480-91738-6  
学校専売品

**詳説 漢文句法 改訂版**  
準拠 学習ノート  
北島大悟 編著  
B5判/別冊解答付/48頁/  
本体500円+税/ISBN 978-4-480-91093-6  
学校専売品



10のグループで覚える  
読解 **古文単語343**  
村田正純・吉田 光 著  
\*自動問題作成システム(Web版)  
B6変型判/256頁/  
本体900円+税/  
ISBN 978-4-480-91735-5

# 筑摩書房版 教科書の展開例



## 編集委員一覧

(太字は筆頭編集委員。以下 50 音順)

### 『現代の国語』『言語文化』編集委員会

【現代文】

**安藤 宏**(東京大学)／**紅野謙介**(日本大学)

五味渕典嗣(早稲田大学)／坂口浩一(東京都立小山台高等学校)

清水良典(愛知淑徳大学)／関口隆一(筑波大学附属駒場中・高等学校)

橘 直弥(灘中学校・高等学校)／仲島ひとみ(国際基督教大学高等学校)

吉田 光(東京都立竹早高等学校)

【古典】

**高田祐彦**(青山学院大学)／**三上英司**(山形大学)

井島正博(東京大学)／大橋賢一(北海道教育大学旭川校)

千野浩一(筑波大学附属駒場中・高等学校)／吉田幹生(成蹊大学)

### 『論理国語』『文学国語』編集委員会

**安藤 宏**(東京大学)／**紅野謙介**(日本大学)

門屋 敦(東大寺学園中・高等学校)／河野龍也(東京大学)

五味渕典嗣(早稲田大学)／清水良典(愛知淑徳大学)

関口隆一(筑波大学附属駒場中・高等学校)／橘 直弥(灘中学校・高等学校)

仲島ひとみ(国際基督教大学高等学校)／服部徹也(東洋大学)

松田顕子(立教新座中学校・高等学校)／吉田 光(東京都立竹早高等学校)

### 『古典探究』編集委員会

**高田祐彦**(青山学院大学)／**三上英司**(山形大学)

東 俊也(武蔵高等学校中学校)／井島正博(東京大学)

大橋賢一(北海道教育大学旭川校)／小田健太(早稲田大学高等学院)

木下華子(東京大学)／千野浩一(筑波大学附属駒場中・高等学校)

吉田幹生(成蹊大学)

「教科書調査の観点」のほか、シラバスなどの資料は、  
筑摩書房の教科書サイト「ちくまの教科書」からダウンロードできます。  
<https://www.chikumashobo.co.jp/kyoukasho/>



筑摩書房

特設サイト



ちくましょぼう  
**筑摩書房**

〒111-8755 東京都台東区蔵前 2-5-3

●ご注文・見本の請求 営業部／tel. 03(5687)2680

●内容に関するお問い合わせ 編集部／tel. 03(5687)2674